

学科シラバス

令和8年度

課程	2級課程 国際自動車整備士科	年次	3年次 <b>前期</b> ・後期
教育科目	自動車工学	教育内容	自動車の構造性能(エンジン)
授業の方法	<b>講義</b> ・演習・実験・実習	授業時間	36
担当教員①	間中	実務経験の有無	<b>有り</b> ・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①登録試験出題歴をもとに要点を導き出し、簡潔にまとめる ②燃料供給装置の各部の名称と役割を覚え、特徴や作動を理解する ③ハイブリッド自動車と電気自動車の構造を理解する ④各センサからの信号検出の原理とECUへの出力方法を理解する。 ⑤装置ごとの基本動作と補正制御の関係性について理解する。		
授業概要	・燃料供給装置について理解する ・ハイブリッド自動車と電気自動車について理解する ・各センサの役割りと作動について学ぶ。 ・各アクチュエータの作動について学ぶ。		
評価方法	単元試験及び期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～15	V燃料装置 1、概要	二級自動車整備士(総合) P50～59	
	2、構造・機能 (1)フューエル・ポンプ(ガソリン・エンジン)		
	(2)コモンレール式高圧燃料噴射装置(ジーゼル・エンジン)		
	(3)ECU		
	単元試験		
16～30	第7章ハイブリッド自動車及び電気自動車 1、概要	二級自動車整備士(総合) P365～372	
	2、電気自動車等の仕組みと種類		
	(1)ハイブリッド自動車 (2)電気自動車		
	3、コンバータ及びインバータ (1)コンバータ		
	(2)インバータ		
31～36	4、配線 (1)高電圧ケーブル (2)高電圧回路の停電方法	二級自動車整備士(二輪) P47～58	
	5、駆動用バッテリー及び充電器 (1)駆動用バッテリー		
	(2)受電器		
	6、駆動用モータ及びジェネレータ (1)駆動用モータ		
	(2)ジェネレータ		
	単元試験		
	第2章エンジン V電子制御装置 1、概要		
	2、構造・機能 (1)センサ (2)アクチュエータ		
	(3)ECUによる制御		
	単元試験		
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		
	二級自動車整備士(二輪)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 <b>前期・後期</b>
教育科目	自動車工学	教育内容	自動車の構造性能(シャシ)
授業の方法	<b>講義</b> ・演習・実験・実習	授業時間	36
担当教員①	間中	実務経験の有無	<b>有り</b> ・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①ボデー揺動の種類を知り、そのときに発生する不具合などについて理解する ②金属スプリングとエアスプリングを比較しての利点を知り、そのときの作動を理解する ③各センサの役割を覚え、電子制御の内容について理解する ④車両が旋回する原理を理解する ⑤ロータリバルブの作動と電動パワーステアリングの種類と作動を理解する ⑥車輪ロックをしないようにするための作動を理解する。 ⑦圧縮空気式の各部について、構造と作動を理解する。 ⑧補助制動を行う箇所と、その作動について理解する。		
授業概要	・サスペンションを介して起こる車体の状態について学ぶ ・エアサスペンション及び電子制御式サスペンションの構造・作動について学ぶ ・電子制御式サスペンションの構造・作動について学ぶ ・旋回性能について学ぶ ・パワーステアリングの種類と作動について学ぶ ・圧縮空気を使つての倍力装置について学ぶ。 ・ABSなどの油圧制御について学ぶ。 ・補助制動装置について学ぶ。		
評価方法	単元試験及び期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～12	Ⅲアクスル及びサスペンション 1、概要	二級自動車整備士(総合) P130～150 二級自動車整備士(二輪) P67～76	
	(1)アクスル (2)サスペンション		
	2、構造・機能 (1)サスペンションの機能		
	(2)エア・スプリング型サスペンション		
	(3)サスペンション(二輪車)		
	3、整備 (1)エア・サスペンションの点検		
	(2)電子制御式エア・サスペンションの点検		
	(3)足回りの点検 (4)二輪車のサスペンションの点検		
単元試験			

授業時間	授業内容	教科書ページ
13～24	IVステアリング装置 1、概要 2、構造・機能	二級自動車整備士(総合) P151～166 二級自動車整備士(二輪) P77～81
	(1)旋回性能 (2)パワー・ステアリング	
	3、整備 (1)保守に係る点検・整備	
	単元試験	
24～36	VIIブレーキ装置 1、概要 (1)ブレーキ性能	二級自動車整備士(総合) P151～166 二級自動車整備士(二輪) P77～81
	(2)制動時における不具合現象	
	2、構造・機能 (1)ブレーキの方式 (2)二輪車のブレーキ	
	(3)電子制御装置 (4)補助ブレーキ	
	3、整備 (1)保守に係る点検・整備	
	(2)不具合現象が発生しているときの着目点	
	(3)パーキング・ブレーキ機構付きブレーキ・チャンバの手動によるパーキング・ブレーキ解除方法	
	単元試験	
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)	
	二級自動車整備士(二輪)	

学科シラバス

令和8年度

課程	2級課程 国際自動車整備士科	年次	3年次 (前期・後期)
教育科目	自動車工学	教育内容	自動車の力学・数学
授業の方法	(講義) 演習・実験・実習	授業時間	27
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴: 自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①電気、磁気についてオームの法則、合成抵抗、電力が分かるようになる。 ②ギヤ比や走行性能について理解する。 ③排気量や圧縮比の計算ができるようになる。		
授業概要	・電気、磁気 ・ギヤ比、性能曲線、走行性能 ・排気量、圧縮比		
評価方法	単元試験 期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～12	電気と磁気	基礎自動車工学P79～91 計算問題を解くノウハウP80～103	
	電気		
	電子、電流、電圧、電流の三作用、電源と起電力		
	直流と交流、電気抵抗、電気回路、オームの法則		
	直列接続と並列接続、電圧降下、電力及び電力量		
	導体、不導体及び半導体		
	磁気		
	磁極、磁界及び磁力線、磁束と磁束密度		
	電流による磁界、コイル、電磁力、電磁誘導		
単元試験			
13～15	ギヤ比	基礎自動車工学P96 計算問題を解くノウハウP25～33	
	変速比の計算方法		
	単元試験		
16～19	性能曲線	計算問題を解くノウハウP34～44	
	エンジン性能曲線、走行性能曲線、トルクコンバータの性能曲線		
	単元試験		
20～23	走行性能	基礎自動車工学P95～98 計算問題を解くノウハウP45～52	
	空車質量と自動車総質量、自動車に働く抵抗		
	駆動力、登坂能力、燃料消費率		
	単元試験		
24～27	排気量・圧縮比	基礎自動車工学P94～95 計算問題を解くノウハウP60～64	
	排気量、圧縮比		
	単元試験		
使用教科書等	基礎自動車工学 二級自動車整備士(総合)	計算問題を解くノウハウ	

学科シラバス

令和8年度

課程	2級課程 国際自動車整備士科	年次	3年次 <b>前期</b> ・後期
教育科目	自動車工学	教育内容	電気電子理論
授業の方法	<b>講義</b> ・演習・実験・実習	授業時間	27
担当教員①	間中	実務経験の有無	<b>有り</b> ・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	⑤点火制御の構成を理解する		
	⑥スパークプラグの電極温度とそのときの作用と状態を理解する		
	⑦予熱を行う場所の違いと、冷却水温をもとに予熱時間を制御していることを理解する		
	⑧車室内空気の暖め方と冷やし方の違いと、空気温度の調整方法について理解する。		
	⑨エアコン各部の機能部品について、その種類と特徴を理解する。		
	⑩エアコンのオート制御の機能部品について、その役割を理解する。		
授業概要	・火花の飛ばし方について学ぶ		
	・スパークプラグの構造について学ぶ		
	・予熱装置の種類と制御方法について学ぶ		
	・エアコンの機能を学ぶ。		
	・冷凍サイクル各部の機能について理解を深める。		
	・マニュアルエアコンとオートエアコンの違いについて学ぶ。		
評価方法	単元試験及び期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～9	点火装置 1、概要 (1)点火時期制御の必要性	二級自動車整備士(総合) P272～277 二級自動車整備士(二輪) P122～134	
	2、構造・機能 (1)気筒別独立点火方式(ダイレクトイグニッション)の点火装置		
	(2)イグニッションコイル		
	(3)スパークプラグ		
	単元試験		
10～15	予熱装置 1、概要 2、構造・機能	二級自動車整備士(総合) P278～280	
	(1)電熱式インテークエアヒータ		
	(2)グロープラグ		
	単元試験		
16～27	VIIシャシ電気装置 冷暖房装置 1、概要 (1)エアコンの分類	二級自動車整備士(総合) P316～333	
	2、構造・機能 (1)冷凍サイクルを構成する機能部品		
	(2)制御方式による違い		
	整備について		
	単元試験		
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		
	二級自動車整備士(二輪)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期)・後期
教育科目	自動車工学	教育内容	材料
授業の方法	(講義)・演習・実験・実習	授業時間	12
担当教員	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①鉄鋼の種類を、それぞれの特徴を理解しながら覚えていく。		
	②鉄以外の金属を使用する理由を理解し、その特徴と用途を知る。		
	③非金属材料でも種類と用途による分類が多種に渡っていることを理解する。		
	④ボルト、ナット、ベアリング、ギヤ、ベルト等の機械要素について学び、それぞれの種類と用途、長所と短所について理解する。		
授業概要	自動車の材料		
	自動車の機械要素		
評価方法	単元試験・期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～3	第3章 自動車の材料	P47～50	
	1 鉄鋼 鋳鉄、鋼、熱処理		
3～5	2 非鉄金属 銅及びその合金、アルミニウム及びその合金	P50～51	
	亜鉛及びその合金、錫及びその合金、鉛及びその合金		
6	3 焼結合金	P51	
7～9	4 非鉄金属 ゴム、セラミックス、合成樹脂と複合材、塗料	P51～54	
10～11	第4章 自動車の機械要素	P55～57	
	1 ねじ ボルト、ナット、小ねじ、タッピングねじ、ワッシャ		
12	単元試験		
使用教科書等	基礎自動車工学		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期)・後期
教育科目	自動車工学	教育内容	燃料・潤滑剤
授業の方法	(講義)・演習・実験・実習	授業時間	12
担当教員	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①燃料と潤滑剤の種類を学ぶ。		
	②製法・性状の違いを理解し、特徴をつかむ。		
	③ガソリン車・ディーゼル車で潤滑剤に要求される性能の違いを理解する。		
	④シャシ、ボデー及び動力伝達システムでそれぞれ性状・特徴が異なることを理解する。		
授業概要	・ガソリンの種類とその成分及び役割		
	・軽油の種類とその成分及び性能の違い		
	・LPG・CNGの成分の違いと特徴		
	・潤滑状態についての理解と潤滑剤の種類とそれぞれの特徴		
評価方法	単元試験・期末試験		
授業時間	授業内容		教科書ページ
1～6	第4章 燃料及び潤滑剤		二級自動車整備士(総合) P341～344 二級自動車整備士(二輪) P143～144
	I 燃料		
	1 ガソリン(基材・性質)		
	2 軽油の性質		
7～12	3 LPG・CNGの性状		二級自動車整備士(総合) P345～350 二級自動車整備士(二輪) P145～148
	II 潤滑剤		
	1 摩擦力と潤滑		
	2 潤滑状態(流体・境界・極圧・固体潤滑)		
使用教科書等	3 潤滑剤(エンジン・オイル ギヤ・オイル グリース ATF CVTF PSF シリコン・オイル)		
	二級自動車整備士(総合)		
	二級自動車整備士(二輪)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期)・後期
教育科目	自動車工学	教育内容	図面
授業の方法	(講義)・演習・実験・実習	授業時間	6
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①JISに基づく製図の一般知識を身につける。		
	②自動車に用いられる機械製図と電気製図を理解し、読むことができるようになる。		
評価方法	・図形の表し方		
	・寸法の記入の仕方や読み方		
	・電気配線図の特徴と読み方		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～3	4、図形の表し方 (1)主投影図	二級自動車整備士(総合) P382～386	
	(2)補助投影図		
	(3)局部投影図		
	(4)対称図形の省略		
	(5)中間部分の省略による図形の短縮		
	(6)断面法		
4	5、寸法記入方法と寸法の精度 (1)寸法記入の原則	二級自動車整備士(総合)P387	
	(2)寸法補助記号		
5	6、電気製図 (1)電気用図記号	二級自動車整備士(総合)P388	
	(2)電気配線図		
6	単元試験		
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期・後期)
教育科目	自動車整備	教育内容	エンジン
授業の方法	(講義) 演習・実験・実習	授業時間	21
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり			
授業目標	①冷却装置について理解する。 ②吸排気装置について理解する。 ③燃料、潤滑剤について理解する。		
授業概要	・冷却装置 ・吸排気装置 ・燃料及び潤滑剤		
評価方法	単元試験 期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～12	IV冷却装置 1、概要 (1)ファン・クラッチ	二級自動車整備士(総合) P45～49 二級自動車整備士(二輪) P41～42	
	2、構造・機能 (1)電動ファン (2)電動ウォーター・ポンプ		
	3、整備 (1)ファン・クラッチの点検		
	単元試験		
13～17	VI吸排気装置 1、概要	二級自動車整備士(総合) P60～68 二級自動車整備士(二輪) P43～46	
	2、構造・機能 (1)過給機 (2)インタ・クーラ		
	(3)EGR装置 (4)排気ガス後処理装置		
	(5)排気制御装置 (6)二次空気供給装置		
	単元試験		
18～21	第4章燃料及び潤滑剤 I 燃料	二級自動車整備士(総合) P341～346 二級自動車整備士(二輪) P143～148	
	1、ガソリン (1)ガソリンの基材 (2)ガソリンの性質		
	2、軽油 (1)軽油の性質		
	3、LPG (1)LPGの性状 4、CNG (1)CNGの性状		
	II 潤滑剤 1、摩擦力と潤滑 2、潤滑状態		
	(1)流体潤滑 (2)境界潤滑 (3)極圧潤滑 (4)個体潤滑		
	3、潤滑剤 (1)エンジン・オイル (2)ギヤ・オイル		
	(3)グリース (4)ATF (5)CVTF (6)PSF (7)シリコン・オイル		
単元試験			
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		
	二級自動車整備士(二輪)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期・後期)
教育科目	自動車整備	教育内容	シヤシ
授業の方法	(講義) 演習・実験・実習	授業時間	21
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①ホイール、タイヤの構造が分かりホイールアライメントを理解する。 ②フレームやボデーについて理解する。 ③整備、点検作業内容や機器類の取り扱いを覚える。		
授業概要	・ホイール、タイヤ、ホイールアライメント ・フレーム、ボデー ・保安基準適合性確保の点検		
評価方法	単元試験 期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1~6	Vホイール及びタイヤ 1、概要 2、構造・機能	二級自動車整備士(総合) P167~177 二級自動車整備士(二輪) P82~86	
	(1)ホイール (2)タイヤ		
	3、整備 (1)タイヤの異常摩耗における点検		
	(2)タイヤの偏摩耗における整備		
	(3)車両への取り付け		
	単元試験		
7~12	VIホイール・アライメント 1、概要 2、構造・機能	二級自動車整備士(総合) P178~186	
	(1)前後輪の相互関係 (2)キャンバ (3)キャスタ		
	(4)キング・ピン傾角 (5)トー (6)タイロッド長とトーの関係		
	(7)スラスト角と後輪のトーの関係		
	単元試験		
13~16	VIIフレーム及びボデー 1、概要 2、構造・機能	二級自動車整備士(総合) P222~228 二級自動車整備士(二輪) P92~94	
	(1)トラック・バス用フレーム (2)二輪車用フレーム		
	(3)ボデーの構造		
	単元試験		
17~21	第5章 保安基準適合性確保の点検 1、概要	二級自動車整備士(総合) P351~360 二級自動車整備士(二輪) P149~180	
	2、点検の目的 (1)性能の確認		
	(2)保安上又は公害防止その他の環境保全上の確認		
	(3)作業精度の向上		
	3、点検作業の流れ (1)受け入れ点検		
	(2)分解点検 (3)中間検査 (4)完成検査		
	4、各部の点検 (1)原動機 (2)かじ取り装置		
	(3)制動装置 (4)走行装置 (5)緩衝装置		
	(6)動力伝達装置 (7)電気装置 (8)その他 (9)走行試験		
	5、検査用機器 (1)サイド・スリップ・テスタ		
	(2)ブレーキ・テスタ (3)ヘッドライト・テスタ		
	(4)音量計 (5)スピードメータ・テスタ		
	(6)OBD検査用スキャンツール		
単元試験			
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		
	二級自動車整備士(二輪)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期・後期)
教育科目	自動車整備	教育内容	電 装
授業の方法	(講義)・演習・実験・実習	授業時間	21
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり			
授業目標	①スキャンツールが行える機能について理解する。 ②メーターの作動原理を理解する ③エアバッグとシートベルトとの関係性をしり、それぞれの作動について理解する。 ④エアバッグ脱着時及び廃棄時の注意事項を理解する。		
授業概要	・警報装置の種類と作動について。 ・外部診断器(スキャンツール)利用法について学ぶ。 ・メーター内の表示の意味を学ぶ ・安全装置の役割り及び構造・作動について学ぶ。 ・整備作業時の注意点について学ぶ。		
評価方法	単元試験及び期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1～5	Vスキャンツール(外部診断器) 1、概要 2、機能	二級自動車整備士(総合) P251～252	
	(1)ECUによる自己診断機能 (2)スキャン・ツールの活用 単元試験	二級自動車整備士(二輪) P141～142	
6～12	VIIシャシ電気装置 計器 1、概要 2、構造・機能	二級自動車整備士(総合) P309～333	
	(1)スピード・メータ (2)エンジン・タコメータ	二級自動車整備士(二輪) P135～140	
	(3)ウォータ・テンパレチャ・ゲージ (4)フューエル・ゲージ		
	(5)インジケータ (6)マルチインフォメーション・ディスプレイ 単元試験		
13～21	安全装置 1、概要 2、構造・機能	二級自動車整備士(総合) P334～340	
	(1)SRSエアバッグ (2)シート・ベルト		
	整備について 単元試験		
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		
	二級自動車整備士(二輪)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期・後期)
教育科目	自動車整備	教育内容	故障原因探求
授業の方法	(講義) 演習・実験・実習	授業時間	12
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①診断の基本について理解する。		
	②外部診断器を用いた効率的な診断方法を理解する。		
	③的確な問診ができるようになる。		
	④現象の確認、原因の推定、再発の防止について理解する。		
	⑤故障診断の進め方ができるようになる。		
授業概要	・基本的な点検		
	・効率的な診断		
	・的確な問診		
	・現象の確認や診断の進め方		
	・不具合現象とその原因探究		
評価方法	単元試験 期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	1、概要	二級自動車整備士(総合)P361	
2	2、効率的な診断 自己診断機能の活用	二級自動車整備士(総合)P361	
3~5	3、診断の基本	二級自動車整備士(総合) P361~362	
	的確な問診		
	現象の確認		
	原因の推定		
6~8	再発の防止		
	4、故障診断の進め方、故障診断の手順	二級自動車整備士(総合)P362	
9~11	不具合現象とその原因探究	二級自動車整備士(総合) P363~364	
	不具合現象の着目点	二級自動車整備士(二輪) P160~180	
	推定原因		
12	単元試験		
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		
	二級自動車整備士(二輪)		

学科シラバス

令和8年度

課程	2級課程 国際自動車整備士科	年次	3年次 (前期・後期)
教育科目	自動車整備	教育内容	電子制御装置
授業の方法	(講義) 演習・実験・実習	授業時間	24
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①各センサからの信号検出の原理とECUへの出力方法を理解する。 ②装置ごとの基本動作と補正制御の関係性について理解する。 ③先進安全技術の構造や作動、整備について理解する。		
授業概要	・各センサの役割りと作動について学ぶ。 ・各アクチュエータの作動について学ぶ。 ・センシング技術や電子制御装置整備について学ぶ。		
評価方法	単元試験 期末試験		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	第3章電気装置 VIエンジン電気装置 電子制御装置 概要	二級自動車整備士(総合)P281~282	
2	構造・機能(1)センサ ・吸入空気量計測	二級自動車整備士(総合) P282~283	
	バキューム・センサ、ブースト圧センサ、エア・フロー・メータ		
3	・スロットル・バルブ開度及びアクセル踏み込み角度検出	二級自動車整備士(総合) P284~286	
	スロットル・ポジション・センサ、アクセル・ポジション・センサ		
4	・空燃比検出	二級自動車整備士(総合) P286~287	
	O <sub>2</sub> センサ、空燃比センサ		
5~6	・クランク角度、ピストン上死点の検出	二級自動車整備士(総合) P287~290	
	ピックアップ・コイル式、磁気抵抗素子式		
	クランク角センサ、カム角センサ		
7	・温度検出 温度センサ	二級自動車整備士(総合)P290~291	
8~9	・その他の信号検出	二級自動車整備士(総合) P291~294	
	ノック・センサ、転倒センサ、スタータ信号、ニュートラル信号		
	ブレーキ信号、エアコン信号、バッテリー電圧信号		
10~11	(2)アクチュエータの駆動及びECUによる制御	二級自動車整備士(総合) P294~301	
	・燃料噴射装置		
12	・アイドル回転速度制御装置	二級自動車整備士(総合)P301	
13~14	・電子制御式スロットル装置	二級自動車整備士(総合)P301~303	
15~16	・点火制御装置	二級自動車整備士(総合)P303~308	
17	単元試験		
18	第8章先進安全技術 1、概要	二級自動車整備士(総合) P373~377	
19~20	2、構造・機能		
	単眼カメラ、複眼カメラ、ミリ波レーダ、赤外線レーザ		
21~24	3、整備 電子制御装置整備に必要な重要事項		
	故障診断の手順、電子制御装置整備の作業方法、 実写を用いた整備 単元試験		
使用教科書等	二級自動車整備士(総合)		

実習シラバス

令和 8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3 年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車整備作業 エンジン・故障探究	教育内容	エンジン/多頻度作業・故探
授業の方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ (実習)	授業時間	エンジン25 故障探求23
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り) ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	秋山	実務経験の有無	有り ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	① 目標時間通りに作業を完了することができる(完成検査含む)		
	② 素早く、確実な作業ができる		
	③ 故障原因を論理的に考え、発見することができる		
	④ 外部診断機でアクティブテストを実施し、不具合気筒を判別できる		
	⑤ 外部診断機を用い、不具合箇所を表示することができる		
授業概要	① エンジンオイル、エレメントの交換(15分以内)		
	② スパークプラグの交換(15分以内)		
	③ ファンベルトの交換(30分以内)		
	④ ラジエータの交換(2時間以内)		
	⑤ 外部診断機を用いた故障原因探求		
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期末試験</li> <li>・単元試験</li> <li>・レポート</li> </ul>		
授業時間	授業内容		備 考
1	実習目標発表、作業概要説明、安全作業について		
2	実習車両準備及び車両確認		
3	オイル、エレメント交換 目標時間15分		
4	↓		
5	↓		
6	↓		
7	↓		
8	スパークプラグ脱着 目標時間15分		
9	↓		
10	↓		
11	↓		
12	↓		
13	ファンベルト脱着 目標時間15分		
14	↓		
15	↓		
16	↓		
17	↓		
18	↓		

19	ラジエータ脱着 目標時間2時間		
20	↓		
21	↓		
22	↓		
23	↓		
24	↓		
25	↓		
26	故障診断(外部診断機使用方法確認)		
27	↓		
28	↓		
29	失火故障診断(アクティブテスト実施)		
30	↓		
31	↓		
32	↓		
33	↓		
34	↓		
35	↓		
36	↓		
37	センサ故障診断		
38	↓		
39	↓		
40	↓		
41	↓		
42	↓		
43	↓		
44	↓		
45	↓		
46	↓		
47	完成検査		
48	単元試験		
使用教科書及び教材	サービスマニュアル	標準作業点数表	二級自動車整備士(総合)

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3 年次(前期)・後期
教育科目	自動車整備作業 エンジン・故障探究	教育内容	エンジン実験考察・故探
授業の方法	講義・演習・実験・(実習)	授業時間	エンジン25 故障探求22
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	秋山	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①メーカー、車種を問わずエンジンの点検・整備ができる ②新旧、年代を問わずエンジンの点検・整備ができる ③整備要領書を参考にしながら点検・整備ができる		
授業概要	・多車種を使って、各センサ、アクチュエータの取付位置などの特徴をつかむ ・キャブレータの点検・調整 ・OBD II を使っての点検・整備		
評価方法	単元試験及びレポート 期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	授業目標および作業内容についての説明		
2	実習車両搬入(5車種1台ずつ)及び注意事項確認		
3	エンジンルーム確認		
4	基本点検の実施(オイル、スパークプラグ、エアクリーナ、バッテリーの状態確認)	不良箇所があった場合は交換	
5	↓		
6	↓		
7	↓		
8	↓		
9	エンジン始動不良の場合の点検	二級ガソリンP142のフローチャートにしたがって点検を実施	
10	↓		
11	↓		
12	↓		
13	↓		
14	エンジン始動不良の場合の現象確認	故障箇所を作成して現象確認を行う	
15	↓		
16	↓		
17	↓		
18	↓		

授業時間	授業内容	備考
19	エンジン出力不足、加速不良の場合の点検(試運転を含む)	二級ガソリンP143のフローチャートにしたがって点検を実施
20	↓	
21	↓	
22	↓	
23	↓	
24	エンジン出力不足、加速不良の場合の現象確認(試運転を含む)	故障箇所を作成して現象確認を行う
25	↓	
26	↓	
27	↓	
28	↓	
29	アイドリング不安定の場合の点検	二級ガソリンP144のフローチャートにしたがって点検を実施
30	↓	
31	↓	
32	↓	
33	アイドリング不安定の場合の現象確認	故障箇所を作成して現象確認を行う
34	↓	
35	↓	
36	↓	
37	ジーゼルエンジンの黒煙測定	黒煙測定器又はオパシメーターを使用(二級ジーゼルP106)
38	↓	
39	↓	
40	↓	
41	二輪車の基本点検の実施(オイル、スパークプラグ、エアクリーナ、バッテリーの状態確認)	
42	二輪車のキャブレータの調整	
43	↓	
44	↓	
45	↓	
46	試運転	
47	単元試験	
使用教科書 及び教材	二級自動車整備士(総合)	
	二級自動車整備士(二輪)	

実習シラバス

令和7年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 前期 (後期)
教育科目	自動車整備作業	教育内容	エンジン/実践③まとめ
授業の方法	講義・演習・実験・(実習)	授業時間	47
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	菊地	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①1年次からの総復習を行い、技術力を定着させる。		
	②時間を意識した作業で、迅速かつ確実な作業ができる。		
	③各センサの脱着作業を通して、センサの取り付け位置、役割を説明できる。		
授業概要	①タイミングベルト、タイミングチェーン脱着		
	②エンジンオイル、オイルエレメント交換		
	③ファンベルトの脱着		
	④各センサの脱着		
評価方法	単元試験、レポート、期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	実習目標発表、作業概要説明		
2	タイミングベルトの取り外し		
3	↓		
4	↓		
5	↓		
6	↓		
7	↓		
8	↓		
9	タイミングベルトの取り付け		
10	↓		
11	↓		
12	↓		
13	↓		
14	↓		
15	↓		
16	実働確認		

授業時間	授業内容	備考	
17	タイミングチェーンの取り外し		
18	↓		
19	↓		
20	↓		
21	↓		
22	↓		
23	タイミングチェーンの取り付け		
24	↓		
25	↓		
26	↓		
27	↓		
28	↓		
29	実働確認		
30	↓		
31	エンジンオイル交換		
32	↓		
33	オイルエレメント交換		
34	↓		
35	ファンベルトの取り外し		
36	ファンベルトの取り付け		
37	↓		
38	エアフローメータの脱着		
39	役割の確認		
40	カム角センサの脱着		
41	役割の確認		
42	O2センサの脱着		
43	役割の確認		
44	水温センサの脱着		
45	役割の確認		
46	完成検査		
47	単元試験		
使用教科書 及び教材	二級自動車整備士(総合)		

実習シラバス

令和7年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車整備作業 シャン・故障探究	教育内容	シャン/多頻度作業・故探
授業の方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ (実習)	授業時間	シャン25 故障探求23
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り) ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	秋山	実務経験の有無	有り ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①シャン系の点検、分解、組立、検査が正確にできるようになる。 ②構造を理解する。 ③整備要領書を使用し、整備ができるようになる。		
授業概要	現場での作業を意識させ、目標時間を設定しその時間内に終了させる。 トルク管理をしっかり行い、速戦力としての技術力の向上を目指す。		
評価方法	レポート 単元試験 期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	FR車のクラッチ交換の導入		
2	注意事項の確認 SSTの使用方法的の確認		
3	↓		
4	整備要領書を使い、作業手順の確認		
5	↓		
6	↓		
7	↓		
8	作業開始		
9	トランス・ミッションを外すために、車内での作業		
10	↓		
11	↓		
11	↓		
12	↓		
13	エンジン・ルームでの作業		
14	スタータの取外し		

授業時間	授業内容		備考
15	リリース・シリンダの取外し		
16	↓		
17	↓		
18	車両の下廻りでの作業		
19	マフラーの取外し		
20	↓		
21			
22	プロペラ・シャフトの取外し		
23	↓		
24			
25	その他の付属装置の取外し		
26	↓		
27	↓		
28	↓		
29	エンジンからトランス・ミッションを取り外す		
30	クラッチ・カバー、クラッチ・プレートを取り外す		
31	グリスアップの指示、注意事項		
32	グリスアップ後、組付け作業(取外し手順の逆手順)		
33	↓		
34	↓		
35	↓		
36	↓		
37	↓		
38	↓		
39	↓		
40	↓		
41	↓		
42	↓		
43	↓		
44	↓		
45	↓		
46	↓		
47	組付け終了後、確認のため走行テストを実施		
48	単元試験		
使用教科書 及び教材	基礎自動車整備作業	サービスマニュアル	二級自動車整備士(総合)

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3 年次 (前期) ・後期
教育科目	自動車整備作業 シャシ・故障探究	教育内容	シャシ/アライメント性能・故探
授業の方法	講義 ・ 演習 ・ 実験 ・ (実習)	授業時間	シャシ25 故障探求22
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り) ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	秋山	実務経験の有無	有り ・ 無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	① 測定機器を使い、正しい数値を計測できる		
	② 測定結果から不具合現象が分かる		
	③ ホイールアライメントの調整方法が分かる		
	④ 4輪アライメントテストを使用して、測定ができる		
授業概要	① CCKゲージ・ターニングラジラスゲージを使用したホイールアライメントの計測		
	② タイヤの磨耗傾向で不具合を推測できる		
	③ 4輪アライメントテストを使用したアライメント測定		
	④ サスペンション形式によるアライメント調整方法		
評価方法	・期末試験 ・単元試験 ・レポート		
授業時間	授業内容	備 考	
1	実習目標発表 作業概要		
2	アライメント測定準備(車両状態の確認)		
3	CCKゲージ、ターニングラジラスゲージを使用して測定		
4	↓		
5	↓		
6	↓		
	↓		
7	↓		
8	↓		
9	トーインゲージを使用して測定		
10	↓		
11	↓		
12	↓		
13	↓		
14	↓		
15	↓		
16	↓		

授業時間	授業内容		備考
17	測定結果をもとにアライメント基準値と比較して、考察		
18	↓		
19	4輪アライメントを使用して測定作業		
20	↓		
21	↓		
22	↓		
23	↓		
24	↓		
25	↓		
26	↓		
27	測定結果をもとにアライメント基準値と比較して、考察		
28	↓		
29	トーの調整作業(フロント)		
30	↓		
31	↓		
32	アライメント調整(キャンバ、リアトー角)		
33	↓		
34	↓		
35	↓		
36	↓		
37	↓		
38	↓		
39	↓		
40	↓		
41	↓		
42	↓		
43	タイヤの摩耗具合から、アライメント不具合の推測		
44	↓		
45	↓		
46	車両完成検査		
47	単元試験		
使用教科書及び教材	基礎自動車整備作業	サービスマニュアル	二級自動車整備士(総合)

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 前期 (・後期)
教育科目	自動車整備作業	教育内容	シャシ/実践③まとめ
授業の方法	講義・演習・実験・ <b>実習</b>	授業時間	47
担当教員①	間中	実務経験の有無	<b>有り</b> ・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	秋山	実務経験の有無	<b>有り</b> ・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①二級整備士として必要な知識を確実なものにする		
授業概要	登録試験(国家試験)に出題頻度が高い箇所について、復習を兼ねて分解・組立てをしなが 構造・作動の確認する		
評価方法	単元試験、レポート、期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	導入 実習目標 作業概要説明 安全作業について		
2	↓		
3	4速ATの分解・組立て		
4	↓		
5	↓		
6	↓		
7	↓		
8	↓		
9	↓		
10	↓		
11	↓		
12	↓		
13	↓		
14	↓		
15	↓		

授業時間	授業内容	備考	
16	CVTの分解・組立て		
17	↓		
18	↓		
19	↓		
20	↓		
21	↓		
22	↓		
23	↓		
24	↓		
25	↓		
26	↓		
27	↓		
28	↓		
29	↓		
30	↓		
31	↓		
32	ステアリング装置分解・組立て(油圧式)		
33	↓		
34	↓		
35	↓		
36	↓		
37	↓		
38	電動パワステの種類確認		
39	↓		
40	↓		
41	トルクコンバーター(カットモデル)の内部構成の確認		
42	↓		
43	↓		
44	↓		
45	完成検査		
46	単元試験		
使用教科書 及び教材	二級自動車整備士(総合)		

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科		年 次	3年次 (前期)・後期
教育科目	自動車整備作業		教育内容	電装/12ヶ月点検
授業の方法	講義・演習・実験・(実習)		授業時間	25
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し	
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり			
担当教員②	秋山	実務経験の有無	(有り)・無し	
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり			
授業目標	① 12ヶ月点検作業が正確に個人作業で時間内にできる ② 車両の走行距離や年数を考慮し、点検結果から交換等の有無を判断できる ③ お客様の車両として、取り扱うことができる ④ 12ヶ月点検にかかる費用等、お客様に説明できる知識をもっている			
授業概要	実習車をお客様の車両に見立て、正しい12ヶ月点検の実施と必要な整備の判断をして点検結果の報告となぜ整備が必要なのか説明できる知識を身につける。 その際の見積もりの提示もできるようになる。			
評価方法	・期末試験 ・単元試験 ・レポート			
授業時間	授業内容			備 考
1	実習目標発表、作業概要説明、安全作業について			
2	別表6の項目及び記録簿の書き方			
3	↓			
4	12か月点検時の受付～引き渡しまでの流れの説明			
5	↓			
6	受付、基本料金、点検項目の口述練習			
7	↓			
8	作業後の交換が必要な箇所の見積もり作成と口述練習			
9	↓			
10	↓			
11	↓			
12	12ヶ月点検基本作業実施(記録簿記入+作業で目標50分)			
13	↓			
14	↓			
15	↓			
16	↓			
17	↓			
18	↓			
19	12ヶ月点検基本作業及び接客応対練習(目標時間1時間)			
20	※受付～引き渡し			
21	↓			
22	↓			
23	↓			
24	車両完成検査			
25	単元試験			
使用教科書及び教材	定期点検記録簿	標準作業点数表	二級自動車整備士(総合)	

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 前期 (後期)
教育科目	自動車整備作業	教育内容	電装/24ヶ月点検整備
授業の方法	講義・演習・実験・(実習)	授業時間	25
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	秋山	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①認証工場及び指定工場を理解する。		
	②作業員、整備主任者及び自動車検査員の役割がわかる。		
	③車検に必要な書類がわかり、見積算出ができる。		
	④24ヶ月定期点検整備が正確かつスピーディに出来る。		
	⑤検査ラインでの保安基準がわかり、検査ラインを通すことができる。		
授業概要	①工場の種類や整備士の地位また車検に必要な書類等の説明		
	②車検にかかる費用の見積算出		
	③24ヶ月定期点検作業の実施		
	④検査ライン作業		
評価方法	単元試験及びレポート		
	期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	実習目標発表、作業概要説明		
2	班分け、安全作業について		
3	・認証工場と指定工場の違い等2年次の復習		
4	・車検見積もり作成		
5	↓		
6	↓		
7	記録簿を使用して24ヶ月点検項目の確認 点検作業実施		
8	↓		
9	↓		
10	↓		
11	↓		
12	↓		
13	↓		
14	↓		
15	↓		
16	完成検査		

	期末試験		
17	検査ラインでの保安基準確認		
18	検査作業(同一性の確認)		
19	検査作業(灯火の色、音量計にてホーンの音量測定)		
20	検査作業(サイドスリップテスト)		
21	検査作業(スピード、ブレーキテスト)		
22	検査作業(ヘッドライトテスト)		
23	検査作業(排気ガス測定、近接排気騒音測定)		
24	検査ライン通し作業		
25	単元試験		
使用教科書 及び教材	法令教材	定期点検整備の手引き	二級自動車整備士(総合)

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 前期 (後期)
教育科目	自動車整備作業	教育内容	電装/実践③まとめ
授業の方法	講義・演習・実験・(実習)	授業時間	47
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	菊地	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①二級整備士として必要な知識を確実なものにする		
授業概要	登録試験(国家試験)に出題頻度が高い箇所について、復習を兼ねて分解・組立てをしながら構造・作動の確認ならびに不具合時の対処方法を学ぶ。		
評価方法	単元試験及びレポート 期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	計器の取り外し		
2	↓		
3	インジケータ及びウォーニングランプ(警告灯)の確認		
4	組付け		
5	↓		
6	エアコン(空気・冷媒の流れ、冷媒サイクル構成部品と役割		
7	冷凍サイクルの確認、ゲージの使い方、見方と注意事項)		
8	↓		
9	吹き出し口温度の測定 ガス回収		
10	コンデンサ取り外し		
11	↓		
12	↓		
13	レシーバ分解		
14	↓		
15	A/Cコンプレッサ取り外し		
16	↓		
17	↓		

授業時間	授業内容	備考	
18	ブロアファン取り外し		
19	↓		
20	↓		
21	エバポレータ取り外し		
22	↓		
23	↓		
24	冷凍サイクルの再確認		
25	取り外した部品取り付け		
26	↓		
27	↓		
28	SRSエアバッグの取り外し時の注意事項について		
29	SRSエアバッグの脱着作業		
30	↓		
31	↓		
32	シートベルトの作動確認(ELR機能のみ)		
33	↓		
34	SRSエアバッグの作動処理について		
35	↓		
36	↓		
37	↓		
38	↓		
39	↓		
40	↓		
41	シートベルトの作動確認(ELR機能のみ)		
42	↓		
43	↓		
44	SRSエアバッグの作動処理について		
45	↓		
46	↓		
47	単元試験		
使用教科書及び教材	二級自動車整備士(総合)		

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次(前期)・後期
教育科目	自動車整備作業 電子制御装置	教育内容	電子制御装置/外部診断器・オシロスコープ
授業の方法	講義・演習・実験・ <b>実習</b>	授業時間	25
担当教員①	間中	実務経験の有無	<b>有り</b> ・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	秋山	実務経験の有無	<b>有り</b> ・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①外部診断器の種類、取扱いを理解する。		
	②外部診断器を使用して故障診断ができる。		
	③オシロスコープの取扱いができる。		
	④エンジンの故障診断ができる。		
授業概要	・車載故障診断装置と外部診断器の違いがわかり、両方とも使い方がわかる。		
	・外部診断器の種類がわかり、使用方法がわかる。		
	・外部診断器を用いて故障診断ができる。		
	・オシロスコープの取扱いがわかり、基本的な波形が出力できる。		
	・オシロスコープからの波形を読み取り、正常か否か判断できる。		
評価方法	単元試験及びレポート		
	期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	導入 実習目標 作業概要説明 共有工具説明 安全作業説明		
2	自己診断システム説明及び故障探究時のフローチャートについて		
3	OBD 2000及び3000操作説明、整備要領書の使い方		
4	↓		
5	データモニタでの点検…正常時の状態を確認		
6	↓		
7	点火時期、冷却水温、吸入空気量、吸入空気温度の点検		
8	アクセルポジションセンサ、スロットルポジションセンサ、O <sub>2</sub> センサの点検		
9	アクセル操作、電気負荷、車速、水温の変化を経過観測		
10	↓		
11	整備要領書を使用して各アクチュエータ、センサの場所を確認		
12	整備要領書に出ているダイアグノーシストラブルコード(以下DTC)を出してみる		
13	↓		
14	各コネクタを外した状態(断線)でのエンジンの作動状況を確認する		
15	エンジン始動不可、エンジン不調、フェイルセーフの状態について区別をつける		

授業時間	授業内容	備考
16	注意)DTCは復帰改善後、その都度消去をしておく	
17	↓	
18	↓	
19	OBD及びオシロスコープを使用して、制御波形の観測	
20	アイドル回転数と点火時期	
21	インジェクタ制御波形	
22	クランク角センサとカム角センサを2チャンネル表示 読取り 読取り時間から回転数算出	
23	クランク角センサとイグナイタを2チャンネル表示 読取り 読取り時間から回転数算出	
24	O <sub>2</sub> センサ出力波形(正常時と失火時の違いを確認)	
25	確認テスト	
使用教科書 及び教材	二級自動車整備士(総合)	

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 前期 (後期)
教育科目	自動車整備作業 電子制御装置	教育内容	電子制御装置/エーミング
授業の方法	講義・演習・実験 (実習)	授業時間	26
担当教員①	間中	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
担当教員②	菊地	実務経験の有無	(有り)・無し
	実務経験の経歴:自動車整備士として自動車販売会社サービス課に勤務経験あり		
授業目標	①エーミング作業ができる ②オシロスコープを使用しての点検ができる		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先進安全技術に使われる部品を理解する</li> <li>・エーミング作業の必要性を理解する。</li> <li>・エーミング作業の準備及び作業の仕方を学ぶ。</li> </ul>		
評価方法	単元試験及びレポート 期末試験		
授業時間	授業内容	備 考	
1	導入 実習目標 作業概要説明 共有工具説明 安全作業説明		
2	カメラの取り外し		
3	↓		
4	カメラの取り付け		
5	↓		
6	ミリ波レーダーの取り外し		
7	↓		
8	ミリ波レーダーの取り付け		
9	↓		
10	赤外線レーザの取り外し		
11	↓		
12	赤外線レーザの取り付け		
13	↓		
14	エーミング作業の説明		
15	エーミング作業の実演		
16	↓		
17	エーミング作業(班作業)		
18	↓		
19	↓		
20	エーミング作業(個人作業)		
21	↓		
22	↓		
23	自動ブレーキの作動確認(試走行)		
24	↓		
25	↓		
26	確認テスト		
使用教科書及び教材	二級自動車整備士(総合)		

学科シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 通年
教育科目	ビジネスマナー	教育内容	ビジネスマナー
授業の方法	講義・演習・実験・実習	授業時間	12
担当教員	間中	実務経験の有無	有り・無し
	実務経験の経歴:		
授業目標	① プロの整備士として必要な知識、考え方を学び、プロ意識が持てる。		
	② 整備士の仕事の流れを把握して、整備作業を円滑に進行できる。		
	③ 接客の基本を学び、作業内容をお客様に説明できる。		
授業概要	プロの整備士として心得を知り、仕事の流れや進め方を学ぶ。お客様対応の基本として、話し方を学び、より良い会話を目指す。		
評価方法	・レポート提出		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	導入「整備士として求められる力」	P9～18	
2	プロの整備士としての心得		
3	↓		
4	仕事の流れ「整備工場における作業内容」	P19～34	
5	↓		
6	仕事の進め方「作業準備・安全作業」		
7	顧客との対話の基本「聴く力・話す力」	P35～59	
8	↓		
9	ロールプレイング		
10	プロの整備士として生きるために	P74～79	
11	↓		
12	P-D-C-Aの考え方		
使用教科書等	整備要員一般教養講習「初級コース」		

実習シラバス

令和8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 通年
教育科目	総合実習	教育内容	総合実習
授業の方法	講義・演習・実験 <b>実習</b>	授業時間	63
担当教員①	間中	実務経験の有無	有り・ <b>無し</b>
	実務経験の経歴:		
担当教員②	菊地	実務経験の有無	有り・無し
	実務経験の経歴:		
授業目標	①モータースポーツをつうじて教科書には無いことを経験する		
	②車体整備士科以外の学生でも簡単な钣金・塗装を経験する		
	③上記の各コースごとにいろいろな経験値を積んでいく		
授業概要	①レーシングカート(練習用カート)を使用		
	②ヘルメットやバンパなど単品部品を使って塗装を試みる		
評価方法			
授業時間	授業内容	備 考	
1	各コースの概要説明		
2	実習目標発表. 作業概要説明. 班分け.		
3	レーシングカート整備・運転コース		
4	試運転		
5	改良・改善作業		
6	走行後整備		
7	↓		
8	↓		
9	钣金・塗装コース		
10	下地処理		
11	塗装		
12	乾燥		
13	実習目標発表. 作業概要説明. 班分け.		
14	レーシングカート整備・運転コース		
15	試運転		
16	改良・改善作業		
17	走行後整備		
18	↓		
19	↓		
20	钣金・塗装コース		
21	下地処理		
22	塗装		
23	乾燥		

授業時間	授業内容	備考
24	レーシングカート整備・運転コース	
25	試運転	
26	↓	
27	↓	
28	改良・改善作業	
29	走行後整備	
30	鈹金・塗装コース	
31	下地処理	
32	塗装	
33	乾燥	
34	実習目標発表. 作業概要説明. 班分け.	
35	レーシングカート整備・運転コース	
36	試運転	
37	↓	
38	↓	
39	改良・改善作業	
40	走行後整備	
41	鈹金・塗装コース	
42	下地処理	
43	塗装・乾燥・仕上げ	
44	実習目標発表. 作業概要説明. 班分け.	
45	レーシングカート整備・運転コース	
46	試運転	
47	↓	
48	↓	
49	改良・改善作業	
50	走行後整備	
51	鈹金・塗装コース	
52	下地処理	
53	塗装・乾燥・仕上げ	
54	実習目標発表. 作業概要説明. 班分け.	
55	レーシングカート整備・運転コース	
56	試運転	
57	↓	
58	↓	
59	改良・改善作業	
60	走行後整備	
61	鈹金・塗装コース	
62	下地処理	
63	塗装・乾燥・仕上げ	
使用教科書 及び教材		

学科シラバス

令和 8年度

課 程	2級課程 国際自動車整備士科	年 次	3年次 (前期) ・後期
教育科目	外国語	教育内容	日本語
授業の方法	講義) ・ 演習 ・ 実験 ・ 実習	授業時間	43
担当教員	間中	実務経験の有無	有り ・ (無し)
授業目標	実務経験の経歴： ①色々な場面で使われる日本語を理解し、正しく使うことができる ②正しく漢字の読み取りができ、意味がわかる ③文章の中で使用される文型がわかり、その文型を使った文章が作れる ④短文・長文を読み、全体の内容が理解できる ⑤日常的な会話を聞いて話しの内容が理解できる		
授業概要	7月・12月に行われる日本語能力試験でN2に合格できる知識を身につける。 すでにN2を取得している学生においては、理解を深め、N1受験に向けた知識の定着を図る。		
評価方法	・単元試験 ・確認テスト		
授業時間	授業内容	教科書ページ	
1	文字・語彙 漢字①～⑤	P9～P18	
2	↓		
3	文の文法1 ①②③	P135～P146	
4	↓		
5	読解 指示代名詞 基本・応用	P183～P186	
6	↓		
7	文字・語彙 表記①～⑤	P19～P28	
8	↓		
9	文法1 ④⑤	P147～P154	
10	↓		
11	読解 理由 基本・応用	P187～P190	
12	↓		
13	文字・語彙 語形成①～③	P29～P34	
14	↓		
15	文の文法1 ⑥⑦	P155～P162	
16	↓		
17	読解 内容一致 基本・応用	P191～P194	
18	↓		
19	↓		
20	文字・語彙 文脈規定	P35～P46	
21	↓		

授業時間	授業内容	教科書ページ
22	文の文法2 ①②③	P163～P174
23	↓	
24	読解 筆者の考え 基本・応用	P195～199
25	↓	
26	↓	
27	文字・語彙 言い換え類義	P47～P50
28	↓	
29	文章の文法3 ①②③	P175～P180
30	↓	
31	読解 統合理解 基本・応用	P200～P205
32	↓	
33		
34	文字・語彙 用法	P51～P58
35	↓	
36	↓	
37	読解 情報検索 基本・応用	P206～P211
38	↓	
39	↓	
40	聴解	P60～ CD利用
41	↓	
42	↓	
43	まとめ 確認テスト	
使用教科書等	パターン別徹底ドリル	
	日本語能力試験公式問題集	